

令和6年1月25日

HIRATSUKA KYOUKAIHO

No.276

平塚協会報

発行所：公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部
発行責任者：森泉 武人



新年を迎えて

(公社)神奈川労務安全衛生協会
平塚支部

支部長 村山 浩

(スタンレー電気(株) 秦野製作所)



新年あけましておめでとうございます。
日頃は当協会の運営、各種事業への参画等、多大なるご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、平塚労働基準監督署をはじめ、関係官庁、諸団体ならびに会員事業場の皆様のご協力により、令和5年度の事業計画を進めて来られましたこと、重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年の世界情勢は、自然災害の激甚化、紛争や人権侵害など深刻な事態が顕在化しました。日本情勢においても、超少子高齢化が進む中、社会保障制度への不安が高

まり社会的セーフティネット強化の実現が求められています。一方、新型コロナウイルスは5類感染症に分類され、私たちの生活はポストコロナの状況に変化して来ています。

このような情勢で安全衛生活動を進めて行くには、国や監督署・関係団体・企業等それぞれ作られたルールを守ることが必要です。2024年問題と言われる法改正や、今年2年目となる第14次労働災害防止計画、企業の安全方針や職場の作業手順など、私たちが正しく認識し、方向性を持って取り組み、“守る”ことで「強い安全衛生活動」となるでしょう。

労務安全衛生協会平塚支部も、各種講習や教育関係の一層の充実を図るとともに、令和6年の活動に取り組んで行きたいと思います。労働災害の減少に向け、今後とも会員事業場の皆様と協力し合い進んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

最後に、会員事業場の皆様のご発展とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

平塚労働基準監督署

署長 柴田 英彦

新年あけましておめでとうございます。
今年は、皆様にとって良い年でありますようお願いしております。旧年中は公益社団法人神奈川労務安全衛生協会平塚支部及び会員事業場の皆様方には労働条件の確保、労働災害の防止活動など労働基準行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年も引き続きよろしくお願いたします。

1月15日までの年末年始の無災害運動は達成できたでしょうか。昨年を振り返りますと、4月に第14次労働災害防止計画が始まり、5月には新型コロナウイルス感染症が感染症法上の分類が2類から5類に見直され、徐々に日常生活を取り戻すようになる中、昨夏は猛暑に見舞われ、大変厳しい季節が続きました。そんな中、燃料や資材の高騰により、円安・物価高も続き、10月には最低賃金が大幅に引き上げられ、神奈川県下では1,112円に全国加重平均でも1,000円を超えることになりました。賃上げ機運は感じられるものの、11月の月例経済報告では景気回復に陰りが見え、厳しい経済情勢が続く中、物価上昇に賃金の上昇率が追いついておらず、家庭生活に大きな影響が出ています。岸田総理も新経済対策などで賃金の引き上げを下支えする各種施策を掲げ、政労使会議で経済界や労働団体に直接、23年(春闘)を上回る水準の賃上げを実施するよう要請するなど「賃金の引き上げ」は最重要課題に位置付けられています。

労働災害の現状を見ますと、数値は少し古くなりますが、令和5年10月末時点で、死亡災害はここ数年0件を維持していたところ、令和5年1月と6月に死亡事故が発生し2件となっております。休業4日以上死傷災害についてはコロナを含めた全産業計で473件(前年同月比-107件)と減少していますが、コロナを除くと387件(全同月比±0件)で、年間目標の-5%を達成に向けてより一層の取組みが求められるところです。生産年齢人口の減少により、高齢者や女性、外国人労働者の

就業機会が増加し、第14次労働災害防止計画では「作業行動に起因した労働災害対策」が重点事項の一つとなっています。特に休業4日以上死傷災害に占める高齢労働者の割合は約3割を占めており、「エイジフレンドリーガイドライン」を踏まえた対策を継続的に取り組む必要があります。

また、2024年問題として取り上げられている運送事業、建設業、医師の時間外労働等の上限規制が本年4月から適用になります。中でも運送事業の長時間労働の抑制には皆様の協力が不可欠です。荷発着時の待ち時間が長時間労働の要因の一つとなっていることから、荷待ち時間の削減は喫緊の課題です。ご理解・ご協力をお願いします。健康確保は個人の裁量が大きな部分ではありますが、長時間労働による健康障害は防ぐことができます。過労死等を防止するため、上限規制を順守して勤務間インターバルの導入などにより長時間労働を防ぎましょう。

昨年11月17日、横浜で神奈川安全衛生大会が盛会され、支部会員の方が功労賞を受賞されました、おめでとうございます。大会宣言で働くすべての人々が安心して働きやすい社会を実現するために、「労働災害のない安全で健康に働くことのできる職場づくりに向けて」、また「時代の変化に対応した柔軟な働き方がしやすい環境整備に向けて」、英知と総力を結集して取り組むことが宣言されました。神奈川労働局でも「すべての人がいきいきと働く神奈川」を目指して取り組んでいます。労働行政の課題は山積していますが、労働災害防止をはじめ、働き方改革の推進など適切な労務管理など皆様の英知と総力により明るい未来を手にするために、課題を一つずつ、克服していきたいと思っております。最後になりましたが、神奈川労務安全衛生協会平塚支部及び会員事業場にとって幸多き1年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和6年 年間標語

小さなヒヤリも 大事な気づき 声に出して災害ゼロ

安全衛生祈願

令和6年1月12日(金)、神奈川労務安全衛生協会平塚支部は恒例の安全衛生祈願を秦野市出雲大社相模分祠で執り行いました。新年早々、能登半島地震と羽田空港航空機事故などの災害が発生し、国内は厳しい状況に直面しています。

この厳しい時期に開催された安全祈願は、53名の参加者が一堂に集まり、希望と結束を祈る意義深い行事となりました。拝殿内では宮司による祈願、巫女の舞、そして玉串奉納が行われ、全員で支部の安全・健康を祈りました。

その後開催された経営首脳者セミナーでは、磯田副支部長、協会本部古屋専務、神奈川労働局の加納部長による行政講演、南極料理人篠原様の特別講演「無事に帰るのが最大のミッション」が行われました。参加者53名は安全への意識を高め、南極観測隊の経験から学ぶ貴重な機会を享受しました。特に南極観測隊の安全術の知見は、実践的でインスピレーションに満ちたものでした。

セミナー終了後には、4年ぶりの懇親会が開催され、参加者たちは顔を合わせて楽しいひと時を過ごし、交流を深めました。この充実した一日を通じて、安全への思いと知恵を共有し、協力と仲間意識の大切さを再確認しました。

新年が厳しい状況で始まりましたが、これからも支部全体で共に助け合い、未来に向けて前進していきましょう。

スタンレー電気(株) 丸山 記



令和5年度 神奈川労務安全衛生大会 功労賞 表彰者

(敬称略)

No.	事業場名	氏名
1	株式会社サンデリカ 平塚事業所	小田原 友美
2	伊勢原工業団地協同組合	安藤 勝基
3	日産車体株式会社	小澤 尚之
4	神奈川労務安全衛生協会 平塚支部	辻 理恵



※神奈川大会(11/17)に受賞者4名のうち2名の方が参加されました。受賞おめでとうございます。(左から小田原さん、辻さん)



新年あけましておめでとうございます。

関西ペイント株式会社 平塚事業所 保健師 亀岡 桂子

2023年は、春頃より政府の新型コロナウイルス感染予防対策が緩和され、少しずつ従来の日常生活を取り戻していくような1年でした。

約3年に渡る自粛ムードの中で、我が家を明るく照らし、家族のストレス緩和に一役かってくれていたのが2020年にお迎えしたネザーランドドワーフという、小型の立ち耳兎です。

その愛くるしい仕草と艶やかでやわらかい毛並みには本当に癒され、まさにアニマルセラピー効果を実感した日々でした。兎はおとなしく、また、ほとんど匂いもなく飼いやすいので、コロナ禍では我が家同様、多くの方が新しい兎の飼い主となったようです。

しかし、その反動でしょうか。近頃では保護兎の数が増

えてきているらしく、それは残念でなりません。

話が少しずれましたが、兎に限らず、動物やそれ以外にも可愛らしいと思ったり、癒されたり、感動したりすることはストレス緩和に良いようです。

旅行に行って美しい風景を見て気分転換したり、感動する映画を見て癒されたりすることからも実感できますね。

一方、アクティブ派には溜まったストレスを運動エネルギーに変換する方法等もお勧めです。

年が明け、干支は兎から辰になりました。2024年は皆様が上手にストレスをマネジメントし、辰のごとく活力をみなぎらせ、心身共に力強く、充実した1年となりますよう祈念し、年始の御挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお祈り致します。



雑感

『持続可能な体調管理目標』

田中貴金属工業株式会社 平塚工場 上田 浩司

SDGs(持続可能な開発目標)を国や企業をはじめ多くの組織体で取り込んでいる昨今、私はSDGsというカーボンニュートラルを始めとした地球環境回復の取り組みなどと捉えていました。しかし17の目標の中に「すべての人に健康と福祉を」といった項目があることを今頃知ったので、衛生部会に所属していることもあり、前から思っていたことなどを雑感として書きたいと思います。「すべての人に健康と福祉を」というと、日本の社会保障制度(年金・医療・介護・他)が頭に浮かびますが、こちらの持続可能な取り組みは優秀な官僚の方々にお任せして、私自身としては健康状態の維持をすることで医療保障のみならず将来お世話になる介護保障給付金を減らすことができれば、今後も増え続ける日本の医療・介護関係の給付金総額をちょっと減らし、SDGsに参画できたことになるかなと思ったりしています。(とは言え脂質異常や痛風予防の薬を毎日欠かさず飲んだりしているので、万全ではないですね…)

ではどうやって健康維持をするかですが、週の中で運動する時間を取り入れ、食事を過食気味にならないように注意したりなどで、大した事ないですね。ただそれでも習慣化させることでメタボやロコモ予防となりえると思いつながりながら続けています。社会保障制度が心配だ、などと思って健康管理は楽しくはないので続け難いですが、楽しいとか嬉しいとかの動機付けがあれば持続可能です。運動はここ3年くらい継続して行っているサイクリングです。色々な場所へ行けるのと、疲れたらペダルを踏みこむのを止めて惰性で前に進むところが私の性格に合った運動です。早歩きで行うウォーキング(速歩)も好きですが、東西南北好きな場所を目指して出掛けられるサイクリングは気分転換にもなって楽しいです。過去に電信柱に激突して、逗子から茅ヶ崎まで前輪ブレーキ壊れた状態で何とか帰り、全身打撲で一晩高熱出して寝込んだこともありましたが、これは私の危機意識が足りなかったため、その後はより安全運転で楽しんでます。もうひとつは、2023年9月に行われた平塚地区安全衛生大会の北折 一さんの特別講演:「こ

れでモチモチ!? あと 5 kg簡単にやせとく裏ワザ」。テーマ名は邪な感じですが、とても面白い内容で体重管理だけでなく、様々な健康ネタを披露していただき、後日著書も購入したりするくらい私には刺さる内容でした。ちなみにこの日を境に喫煙もやめることができました。この講演を聞いてから、日々の体重測定を通して食事量との向き合い方に変化が表れて、必要以上に食べる行為が抑えられたので、衛生大会と北折一さんに感謝しています。ザックリ言うとうダイエットなどという意識をせずに食欲が抑えられ、体重計にのる楽しみが出来ました。(9月から11月現在で約4Kg減量出来ました)記録はiPhoneのヘルスケアアプリで行っています。さらにApple Watchがあると、多くの身体情報を簡単に記録できるため、年単位での身体向上や衰え内容が取れるので長い目で見ればお勧めですし、モチベーション維持にも使えます。

SDGsの「すべての人に健康と福祉を」を実現するためには、もちろん行政サービスが大切です。ですがそのためには一人ひとりの持続可能な健康管理がとても大事で、メタボ(代謝症候群)とロコモ(運動器症候群)となりにくい様にする事で、後天的な病気になるリスクを少しでも下げてQOLを上げられればしめたものです。老後も運動することが持続可能な身体を、動けるうちからしっかり育ませたいものです。それでも病気になるたり介護が必要になったりするかもしれないですが、老後にかかる私への税金投入額がちょっとでも下がれば、SDGsへの参画と未来の大人達へ貢献できたと言ってもいいですかね?今年から私の会社では健康経営を踏まえた施策として、コラボヘルスを進めています。その中で、半年に1回行う「大人の体力測定」と称した40歳以上を対象とした肥満・筋力・柔軟性などへの評価と健康指導を踏まえた活動を行っております。私も参加した結果、筋肉量は平均より下、隠れ肥満などと評価を受け、運動量も体重管理もまだまだということが発覚しました。健康意識高めと思っていましたが、まだまだのようです…。みなさまは健康管理をどのようにされていますか?

神社仏閣めぐりから… 相模國一之宮 寒川神社

2022年新年号にて「神社仏閣巡り」として平塚八幡宮をご紹介し、以降、川勾神社、六所神社、比々多神社と巡ってきました。今回は、相模國一之宮の寒川神社をご紹介したいと思います。

寒川神社は雄略天皇(456年～479年)の代に奉幣、神亀4年(727年)に社殿建立という記録が残っており、約1600年の歴史を有した神社です。また神社の御神徳は全国唯一の八方除の守護神とされてます。八方除は全ての悪事災難を取り除き福徳開運を招き、生活に限りない恩恵をもたらすという、大変ありがたいものであり、この御神徳を受けるため、全国から参拝される方も少なくありません。

年間参拝者数が約200万人、正月三が日だけで約50万人が参拝されると言われていて、初詣の参拝者数としては神奈川県下でも有数です。更に、日本で一番昇殿祈禱者数が多い神社としても有名です。それもこれも当神社が県下屈指のパワースポットと言われるのが故でしょう。社殿が鎮座するのは高座郡寒川町宮山で、平塚からは湘南銀河大橋を渡って46号線を北進すれば約15分程で到着出来ます。広大な境内は樹齢数百年と思われる木々に囲まれていて、敷地に入るだけでも普段の喧騒から離れられ、心安らかな時間が流れる場所です。前述の通りお正月や神社の行事が開催される日は多くの方が参拝に訪れますが、平日は割と静かです。県下有数の神社ですので、是非時間を作ってゆっくり散策される事をお勧めします。



株式会社KELK 西久保 記

編集後記

令和6年、新年明けましておめでとうございます。

昨年振り返りですが、新型コロナウイルス感染症が5月8日より季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行しました。それに伴い、外出自粛の要請などはなくなり、感染対策は個人や事業者の判断に委ねられるなど、3年余り続いたコロナ対策は大きな節目を迎えました。一方、事業者でのコロナ対策は集団感染を防ぐために換気対策や会議中のマスク着用は継続していますが、感染対策の緩和により、私の息子が通う小学校ではインフルエンザ流行に伴う学級閉鎖など、

コロナだけではなく、様々な病気に注意する生活となりました。結局のところ、感染対策(手洗い・うがい)だけでは、止めることができません。特に息子にとっては、夢中となっている少年サッカーを病気で休むことが無いように感染対策をしていますが、それでも集団生活の中で感染を防ぐことは難しく、数回体調不良となりました。家庭内で発熱者が出ると、様々な可能性を疑い、検査結果で陰性が出るまで、会社に出社できません。令和6年こそは、家庭内の健康第一を目標とし、病欠ゼロにしたいと思います。

最後となりますが、令和6年労安協平塚支部関係者一丸となって、健康維持及び安全活動を展開し無災害を目指していきましょう。

エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル(株) 森泉 記